

令和5年度 日本史A シラバス

科目	日本史A	単位	2	学年	3	対象学科	全科	選択
使用教科書	高等学校 改訂版 日本史A一人・くらし・未来(第一学習社)							

学習の到達目標	我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。
---------	--

評価の観点			
a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用 of 技能	d. 知識・理解
近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に対する関心と課題意識を高め、意欲的に追究するとともに、国民としての自覚と国際社会に主体的に生きる日本人としての責任を果たそうとする。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開から課題を見だし、我が国の形成の歴史的過程と生活・文化の地域的特色を、世界的視野に立ち多面的・多角的に考察し、国際社会の変化を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開に関する諸資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	近現代史を中心とする我が国の歴史の展開と生活・文化の地域的特色についての基本的事柄を理解し、その知識を身に付けている。

学期	月	学習項目	学習内容(ねらい) および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
1	4	第1部 私たちの時代と歴史 ・ 私たちの時代 ・ 私たちの身近なところから歴史を考えてみよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分自身の経験と関連させながら 2000 年代以降の社会のようすを理解する。 カレーライスを一つの手がかりとして、日本人の食生活を時代背景と関連させながら理解する。そのほか、日常の題材のなかからみずからテーマを設定して、情報の収集や調査をおこなう。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 提出課題
		第2部 第1章 近代国家の形成と国際関係の推移 第1節 近代への胎動 ①せまってくる外国船 ②ちからを蓄える庶民 ③近代思想のいぶき	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代の日本の対外関係について理解する。 近世後半の産業、教育や学問・思想などの発展について理解し、さらに、これらが近代文化の基盤となったことを理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査
		近代の追究① ・ 旅行はいつ頃から身近になったのだろうか	<ul style="list-style-type: none"> 日本人の旅(旅行)の変遷を、当時の時代背景と関連させながら理解する。 旅(旅行)の事例を手がかりとして、そのほか現代に残る風習や民間信仰にかかわる題材から課題を設定して、情報の収集や調査をおこなう。 	○			○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題提出
		④揺らぐ幕藩体制	<ul style="list-style-type: none"> 江戸時代後期の幕藩体制の動揺と諸藩の改革について理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価
	5	第2節 明治維新 ①黒船がやってきた ②志士たちの時代 ③手を結ぶ薩長 ④近代との出会い ⑤江戸幕府が終わり新政府へ	<ul style="list-style-type: none"> 開国に至る経緯と、幕府の対応について理解する。 開国以後の情勢について、幕府が崩壊した一連の流れを理解する。 幕末から明治初期の使節・留学生の派遣、外国人の招聘により欧米文化が導入されたことを理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 小テスト ノート提出 定期考査
		第3節 近代国家の確立 ①江戸が東京になった ②天皇の軍隊がつくられた ③スローガンは「富国強兵」 ④欧米文化がはいつてきた ⑤日本の国境が定まった ⑥爆発する農民や士族の不満 ⑦国会開設が決まった ⑧地主制が進行した ⑨立憲政治がはじまった ⑩国会がはじめて開かれた	<ul style="list-style-type: none"> 明治政府の初期の諸政策によって、近代日本の基礎が形成されたことを理解する。 明治政府の中央集権化・藩閥専制の傾向に対し、自由民権運動がおこり、国民の政治的関心が高揚し憲法制定・国会開設に至る、一連の動きを理解する。 初期の外交政策は、欧米に対しては不平等条約の改正、一方、アジア諸国に対しては強硬な態度で臨んだことを理解する。 この時期に、日本の領土が国際的に確定したことも理解する。 	○	○		○	
	6	第4節 国際関係の推移と近代産業の発展 ①欧米と肩を並べる国をめざして ②清国との対立が深まった ③藩閥と政党が接近した ④ロシアとの戦争がおこった	<ul style="list-style-type: none"> 明治前半では、条約改正が最大の外交課題であり、この克服においては、国際情勢と国内情勢が密接に関係し、進められたことを理解する。 日清・日露戦争の経緯と結果、また、この戦争を経て、アジアに対して日本が勢力の拡張をおこなったことを理解する。 	○	○		○	
		7			○	○		○

学年	月	学習項目	学習内容(ねらい) および評価の観点	a	b	c	d	評価方法	
1	7	⑤アジアへの勢力拡大がはじまる	<ul style="list-style-type: none"> 日清・日露戦争期において、政党政治が展開したことを理解する。また、日露戦争後の国民の負担や、政府による精神的な引き締めについて理解する。 日清・日露戦争の過程で、日本に産業革命が起こり、資本主義が確立したことを理解する。 資本主義の発展によって産業構造が変化し、これにともない、都市における貧民問題や労働問題など、さまざまな社会問題が発生したことを理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査 	
		⑥国民の生活が圧迫された							○
2	9	⑦綿糸と生糸が支えた産業革命		○	○		○		
		⑧欧米の資本主義に仲間入りした		○	○		○		
		⑨貧富の差が広がった		○	○		○		
		⑩国家主義が台頭する	<ul style="list-style-type: none"> 教育の普及、また、国民統制において、教育政策や国家主義的思想がはたした役割について理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査 	
		⑪教育が進化した							
		近代の追究② ・制服はいつ頃誕生したのだろうか	<ul style="list-style-type: none"> 学校の制服の誕生と、その背景としての政府の政策との関係について理解する。 制服の事例を手がかりとして、そのほか学校にある行事や教科・教材、また学校を取り巻く地域の歴史に關係するものを題材をとして課題を設定して、情報の収集や調査をおこなう。 	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題提出 	
		⑫明治の文化が花開いた	<ul style="list-style-type: none"> 明治の学問と芸術の成果について理解する。その背景として、お雇い外国人や留学生の存在についても理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査 	
		第2章 両大戦をめぐる国際情勢 第1節 第一次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> 第一次護憲運動・第二次護憲運動をはじめとする民衆運動の盛り上がり、大正期における政党政治の展開について理解する。 第一次世界大戦に日本が参戦した意図、日本の外交方針の推移について理解する。 第一次世界大戦後、国際的に民族運動が高まったことについて理解する。 第一次世界大戦が日本に与えた経済的な影響について理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査 	
		①民衆が政治を動かしたはじめ							
		②最初の世界大戦に日本も参戦した							
③成金の時代がやってきた									
④朝鮮・中国の民衆が立ち上がった									
⑤日本は欧米に歩調をあわせた									
10	10	⑥「平民宰相」が登場した	<ul style="list-style-type: none"> 大正期にさまざまな社会運動が活発になったこと、女性解放運動もすすんだことを理解する。 大正デモクラシーの風潮のなか、あらたな学問・芸術が生まれたこと、都市の発展などを背景に大衆文化が誕生したことを理解する。 	○	○		○		
		⑦抑圧からの解放をもとめて		○	○		○		
		⑧新しい文化とモダンな都市が生まれた		○	○		○		
		⑨学問と芸術に新風が吹く		○	○		○		
11	11	第2節 第二次世界大戦と日本	<ul style="list-style-type: none"> 国内的な第一次世界大戦以後の慢性的な不況と、国際的な世界恐慌による資本主義諸国の経済危機について把握し、日本および各国が、このような状況をどのように克服していったのかを理解する。 軍部の台頭の過程と、これにともなう政治的な状況の変化について理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査 	
		①恐慌の嵐が吹きあれる							
		②日本の外交が行き詰まる							
		③軍部の暴走がはじまった							
11	11	④中国との長い戦いはじまった		○	○		○		
		⑤戦争の影が文化におよぶ	<ul style="list-style-type: none"> 中国・アメリカを中心とした国際関係の変化にも着目しながら、太平洋戦争に至る過程を理解する。 太平洋戦争に至る過程のなかで、国民生活はどのように変化したのかを理解する。 日本がアジア諸国に対して与えた影響について理解する。 	○	○		○		
		⑥すべてが戦争に協力させられた		○	○		○		
		⑦アメリカとの戦争がはじまった		○	○		○		
11	11	⑧戦争が拡大する		○	○		○		
		⑨アジア・太平洋の諸民族にかかわった		○	○		○		
11	11	⑩生活も戦争に染まった		○	○		○		
		⑪戦争が終わった		○	○		○		
11	11	近代の追究③ ・流行歌はどのように誕生したのだろうか	<ul style="list-style-type: none"> 流行歌を中心とした音楽の変遷を、当時の時代背景と関連させながら理解する。 流行歌の事例を手がかりとして、そのほか近代に生まれた文化で、現在まで続くものから課題を設定して、情報の収集や調査をおこなう。 	○	○	○		<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題提出 	
				○	○	○			

年	月	学習項目	学習内容(ねらい) および評価の観点	a	b	c	d	評価方法
2	12	第3章 現代の日本と世界 第1節 日本の再出発 ①占領軍がやってきた ②日本が生まれかわる ③新しい国のしくみ ④飢えとのたたかい ⑤飢えのなかでも解放感があつた ⑥民主化から経済復興へ ⑦復興への転機到来 ⑧複雑な環境のなかでの独立	<ul style="list-style-type: none"> 第二次世界大戦後の連合国による対日占領政策, 民主化の諸改革の内容について理解する。 日本国憲法について, その制定までの過程や内容の特徴を理解する。 戦後の深刻な国民生活の実態について理解する。・敗戦後の国民生活について, 食料不足などの危機的状況にあったことを理解する。一方で, アメリカ文化をはじめとするあらたな文化的動向についても理解する。 日本の経済復興の過程を理解する。 国際的な冷戦のはじまりと, 日本に対する占領政策の転換からサンフランシスコ平和条約の締結に至る経緯と背景について, 理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査
3	1	第2節 独立後の政治と経済の発展 ①平和への願いが叫ばれた ②保守と革新の正面衝突 ③奇跡の経済成長がはじまった ④奇跡の経済成長の影 ⑤あらたな戦争にまきこまれた ⑥豊かさの中流意識	<ul style="list-style-type: none"> 主権回復後の日本の国内的な政治の推移と, 新しい外交関係の確立の動きについて理解する。 高度経済成長の実態と, その歴史的意義について理解する。また, 高度経済成長期には, 経済発展の一方で, 都市化, 農山漁村の過疎化, 公害の発生など, さまざまな社会問題が表面化したことを理解する。 高度経済成長期において, 科学技術の発達, 産業構造の変化, 消費の拡大など, これを機におきた変化の内容について理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査
	2	第3節 現代の日本と世界 ①2つのショック ②経済大国が誕生した ③消費はファッションになった ④バブルはこうしてふくらんだ ⑤大きな歴史の転換をむかえた ⑥政局と経済が混迷する	<ul style="list-style-type: none"> 石油危機にともなう日本国内の動きを, 国際情勢の動向をふまえて, 理解する。 1970年代以降の消費生活の変化, その背景としての家族形態の変化について理解する。 国際的な冷戦の終結後の世界情勢と, 国内的な55年体制の崩壊について理解する。 	○	○		○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 小テスト ノート提出 定期考査
	3	⑦これからの日本について考えよう ⑧時代の転換点に立って	<ul style="list-style-type: none"> 現在の日本がかかえる諸課題について, 国際社会での役割, 国内的な問題という面から理解する。 1990年代以降の国民生活については, 経済的背景としての雇用状況の変化, また, ネットワークの発展が大きなキーワードであることを理解する。 	○	○		○	
		現代からの探究①② ・歴史と共に生きるということについて考えよう① ・歴史と共に生きるということについて考えよう②	<ul style="list-style-type: none"> これまでの学習の成果として, 身近なところに歴史的なものが存在することを理解する。また, 大切な文化財の存在に気づき, これを守っていくことに対して責任をもつことの大切さを理解する。 現在の私たちと関係の深い歴史的な事柄を題材として, その課題を追究し, 成果をまとめ発表する。その際に, これまでの学習の成果として, さまざまな題材が資料となることを理解しながらすすめる。 	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 授業態度 発問評価 課題提出